



MIHO MUSEUM



日本語

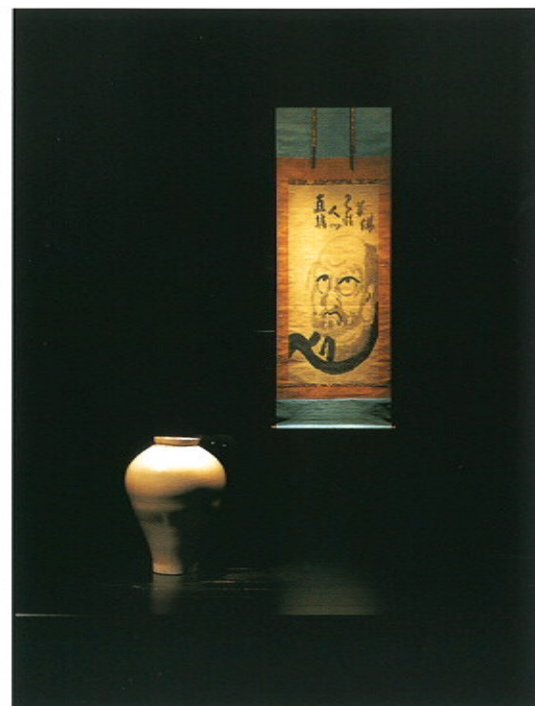
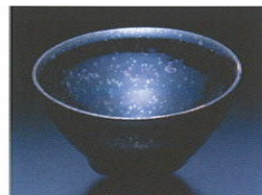
日本語





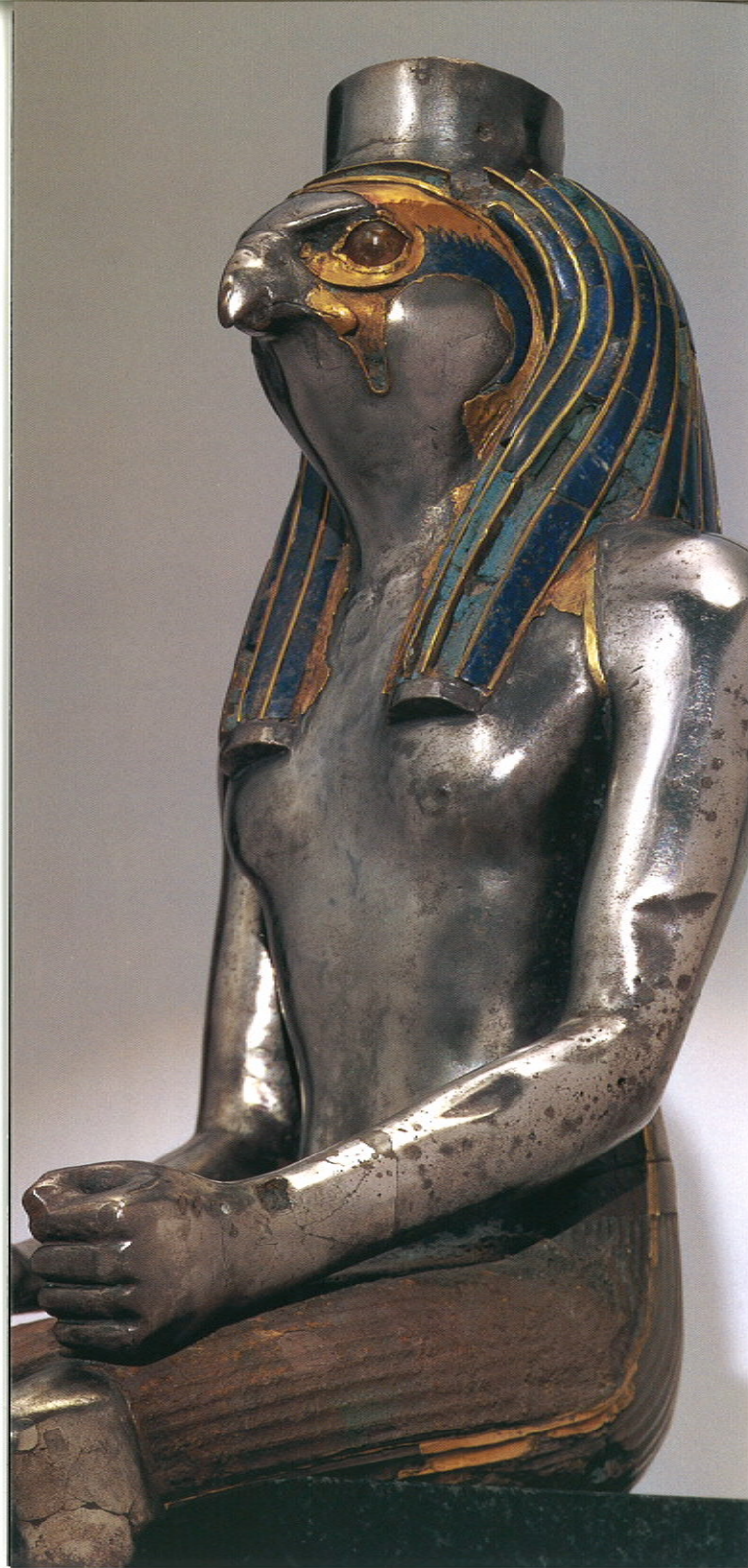
## 北館

北館は、佐治石を配した中庭を囲むように建てられています。季節により、国内外からの出陳を加えた特別展の会場となります。展示内容は企画によって変わります。



- ▲ 羅刹天目 中国・宋時代 11-12世紀 〈重要文化財〉
  - ▲ 達磨図（白隠慧鶴筆）江戸時代 18世紀 紙本墨画墨書
  - ▲ 白磁大壺 朝鮮王朝時代 17世紀
  - ◆ 焰摩天像 平安時代後期 12世紀 絹本着色 〈重要文化財〉
- \* 上記4作品は常設展示ではありません。





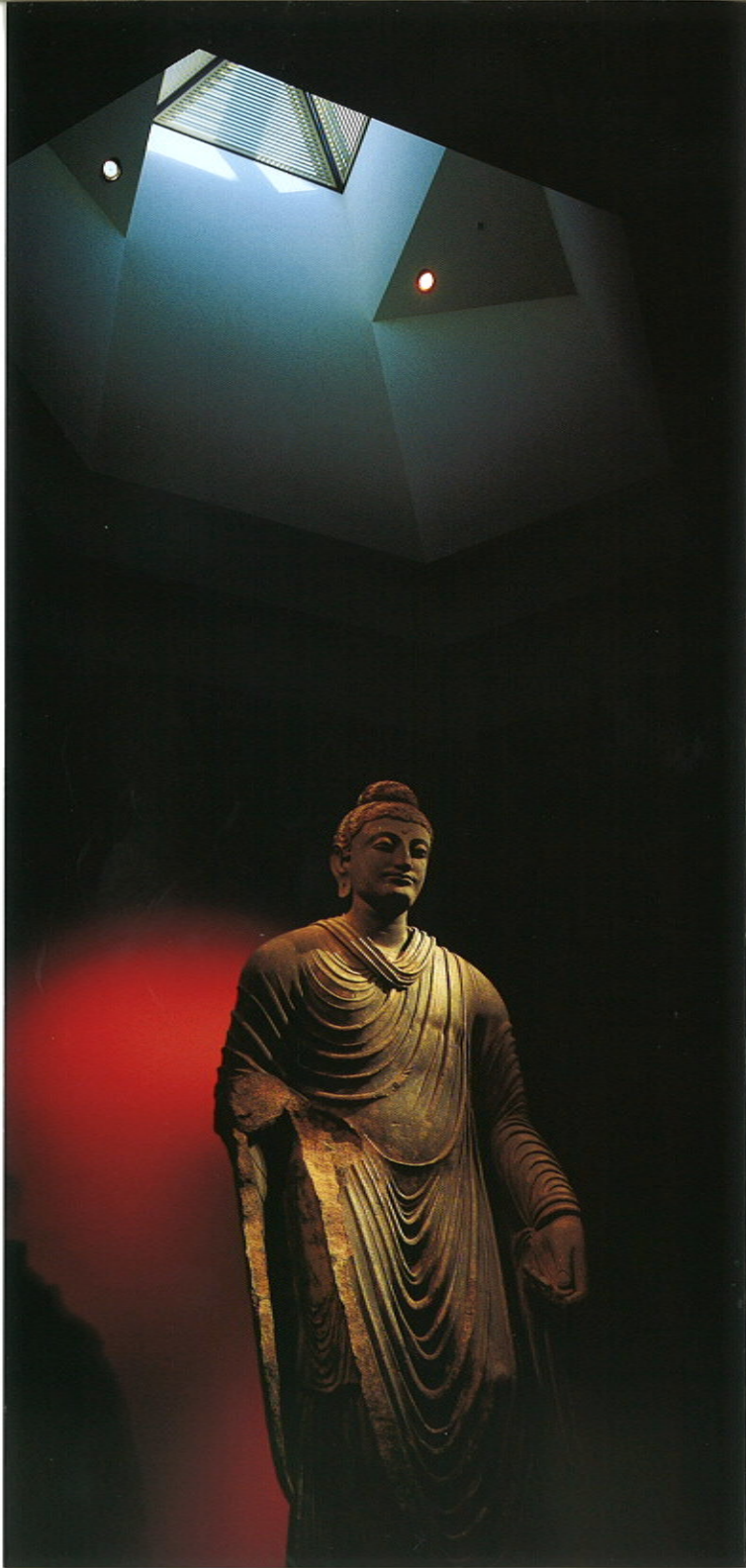
## 南館

南館の展示室には、シルクロードを旅するかのように、エジプト、西アジア、ギリシア・ローマ、南アジア、中国、ペルシア、中央アジアなどの古代美術が展示されています。



- ▲ キュービッド（フレスコ部分）ローマ 1-25年頃 テンペラ（漆喰）
- ▲ 精霊と従者浮彫 イラク北東部 ニムルド北西宮殿 新アッシリア（紀元前883-859）石灰岩
- ▲ 牡牛裝飾脚杯 イラン北西部 紀元前12-11世紀 金
- ▲ 猛禽裝飾杯 イラン北西部 紀元前12-11世紀 金
- ◀ 隼頭神像 エジプト 第19王朝初期頃 紀元前1295-1213頃  
金、銀、ラピスラズリ、水晶、エジプシャン・ブルー

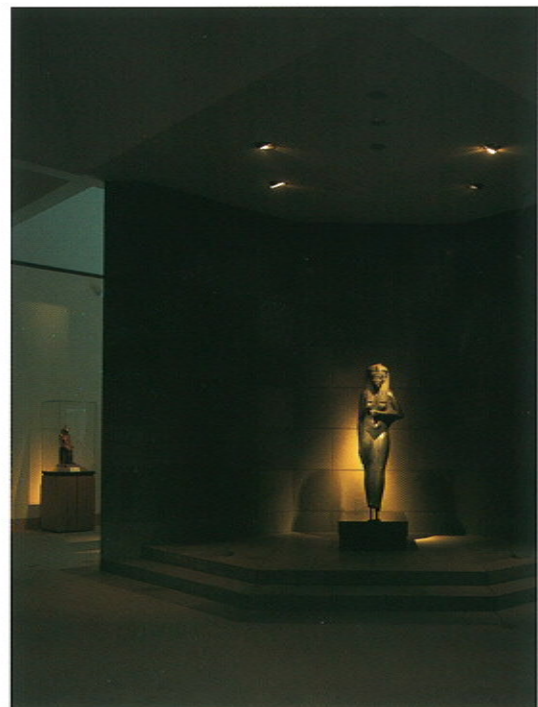




## コレクション

MIHO MUSEUMのコレクションは、茶道具から始まり、仏教美術、陶磁器、漆工などの日本美術から、やがて世界の古代美術へと発展していきました。

東西文化を併せたコレクションは、約2,000点からなり、常設展示のほか、季節により特別展を企画し、古代オリエントから日本にわたる美術品を常時約250~500点公開しています。



- ▲ カメオ装飾杯 おそらくイラン 9-10世紀 ガラス
- ▲ アルシノエⅡ世像 エジプト プトレマイオス朝 紀元前270-246 花崗岩性閃緑岩
- ◀ ガンダーラ仏立像 パキスタン ガンダーラ 2世紀後半 片岩  
表紙 庭園図(フレスコ部分) ローマ 1世紀 フレスコ

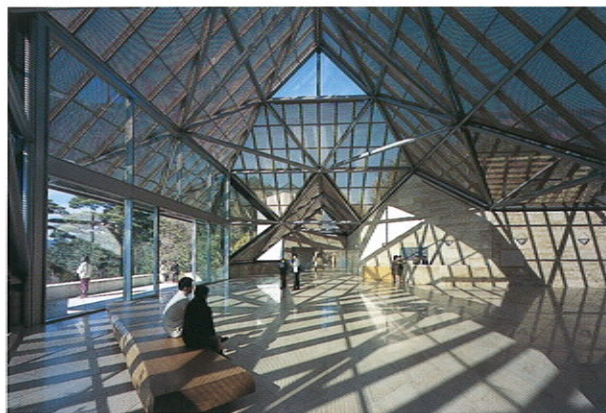


## 建築

MIHO MUSEUMは1997年11月に、琵琶湖の南、自然豊かな湖南アルプスの山中に誕生しました。建築設計は、パリ・ルーブル美術館のガラスのピラミッド、ワシントンのナショナルギャラリー東館などで世界的に知られるI.M.ペイ氏によるものです。

設計のテーマは桃源郷。道に迷った漁夫が仙境の楽園—桃源郷を見つけ出すという、陶淵明の「桃花源記」に描かれた物語を、信楽の地に実現しました。

美術館本館は、「自然と建物と美術品」「伝統と現代」「東洋と西洋」の融合をテーマに、建築容積の80%以上を地中に埋設し、建物の上にも自然を復元しています。幾何学模様が織りなすガラス屋根からライムストーン製の壁に、明るい太陽の光が降り注ぎ、訪れる人々をやさしく包み込んでくれます。



建築家 I.M.ペイ

「日本の昔の建築家は、土地と建物、そして景観を調和させる、そういったフィーリングを持っていました。もちろん、わたしは真似はしたくありません。しかし、日本人の心、文化、伝統を尊重したいと強く思いました。」











ミュージアムショップは、美術館棟に2カ所、レセプション棟に1カ所の3店舗あります。MIHO MUSEUMをテーマにした音楽CDや絵本、スカーフ、Tシャツ、絵葉書や、展覧会図録などオリジナルグッズを取り揃えております。ご来館の記念にどうぞ。



レセプション棟にレストラン「PeachValley」、美術館棟に喫茶「Pine View」があります。食材や調味料のほぼすべてが、農業や人為的な肥料を一切使わず、自然の堆肥のみで栽培する農法で作られたものを使用しています。豆腐をはじめ、パン、ケーキ、和菓子、うどん、そばなども当館自家製です。安全で滋味あふれる素材を活かした料理をご賞味ください。

#### 開館期間(下記期間以外は休館)

- ・春季：3月中旬～6月初旬
- ・夏季：7月中旬～8月中旬
- ・秋季：9月初旬～12月中旬

#### 開館時間/休館日

- ・10時～17時(入館は16時まで)
- ・上記開館中の月曜日休館(祝日の場合翌平日)

#### 入館料(20名以上の団体は各200円割引)

- ・一般：1,100円
- ・高・大生：800円
- ・小・中生：300円

#### 交通

- ・JR石山駅より帝産バス「MIHO MUSEUM 行き」50分
- ・バス時刻表(※バス時刻は変更されることがあります)

JR 石山駅 発 ▶ 「MIHO MUSEUM 行き」〈帝産バス〉							
平日	9:10	10:10	11:10	12:10	13:10		
土日祝	9:10	9:50	10:10	11:10	12:10	13:10	14:10

MIHO MUSEUM 発 ▶ 「JR 石山駅 行き」〈帝産バス〉							
	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:07	17:14

信楽高原鐵道 信楽駅 発 ▶ 「田代・畑 巡回」10:50 〈信楽高原バス〉

MIHO MUSEUM 発 ▶ 「信楽駅」方面				11:10	〈信楽高原バス〉		
	12:20	13:30	〈帝産バス ※信楽駅へは「伝統産業会館前」下車徒歩6分〉				

- ・お車で、新名神「信楽IC」より15分、「草津田上IC」より20分、名神「栗東IC」京滋バイパス「瀬田東IC」より各30分、名阪国道「壬生野IC」より35分
- ・タクシーで、JR石山、瀬田、草津各駅より35分、信楽高原鐵道信楽駅より20分
- ・無料駐車場完備(乗用車150台、大型バス20台)



#### MIHO MUSEUM

〒529-1814 滋賀県甲賀市信楽町田代桃谷300  
Tel. 0748-82-3411 Fax. 0748-82-3414  
URL: <http://miho.jp> (パソコン・携帯電話共通)

MIHO MUSEUM 友の会 会員募集中